

令和6年度（2024年度） 第1回草加市地域経営委員会会議録

1 開催日時

令和6年（2024年）10月10日（木）午前10時から午前12時まで

2 開催場所

草加市役所本庁舎7階会議室7C

3 出席者の氏名

- (1) 委員 原恵美子委員、大谷基道委員、樋田勉委員
大久保和敏委員（委員長）、安藤ちづる委員
- (2) 関係者 株式会社埼玉りそな銀行 草加地域統括 草加支店 中島義博支店長
草加公共職業安定所 真田和彦所長
- (3) 事務局 総合政策部 坂田部長、高橋副部長、
芝田特命参事（事業総点検・資産活用担当）、
赤澤特命参事（財政担当（兼）みらい戦略担当特命参事）
総合政策課 生亀課長、安食副参事（兼）課長補佐、
堀込主査、並木主事、土子主事
情報推進課 鈴木総合政策部副部長（兼）情報推進課長、川渕主事、瀧川主事
産業振興課 森田課長補佐、松本リノベーションまちづくり推進係長

4 会議の次第

- (1) 開会
- (2) 議事
 - ア デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業について
 - (ア) そうかスマート窓口事業について
 - (イ) 多極多層型まちづくりの広域展開モデル事業について
 - イ 企業版ふるさと納税の効果検証について
 - ウ 事業総点検について
- (3) その他
- (4) 閉会

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴人

1人

7 審議の結果

- (1) デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業のうち、そうかスマート窓口事業については、資料1-1-1及び資料1-1-2、資料1-1-3に基づき、事業担当課から交付

対象事業の実施内容や設定した評価指標ごとの考察を説明した後、各委員から活用方法や指標の検討などについて意見があった。

- (2) デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業のうち、多極多層型まちづくりの広域展開モデル事業については、資料１－２－１及び資料１－２－２、資料１－２－３に基づき、事業担当課から交付対象事業の実施内容や設定した評価指標に対する実績を説明した後、各委員から事業内容等について評価をいただいた。また、今後の事業展開について、自走化を促していくべき等の意見があった。
- (3) 事務局から、企業版ふるさと納税の効果検証について、資料２に基づき、企業版ふるさと納税の概要及び寄附を受けた対象事業の実施内容を説明した後、評価をいただいた。
- (4) 事務局から、事業総点検について、資料３に基づき、事業総点検の概要及び会議結果の報告を行い、事業総点検会議の９つのテーマ及び７０８の事業に対する意見や評価をいただいた。

８ 主な意見

- (1) デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業・そうかスマート窓口事業について
 - ・アンケートで「不満」と回答した方について、理由を整理して改善の参考とするべきである。
 - ・導入当初の職員負担は仕方ない部分もある。
 - ・今後のランニングコストや更新費については、利用状況等も踏まえて、検討が必要である。
 - ・成果指標（ＫＰＩ）について、比較対象を意識する等、改善すべき必要がある。
- (2) デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業・多極多層型まちづくりの広域展開モデル事業について
 - ・事業に参加した委員は、新しい繋がりや役割ができていると実感している。
 - ・事業の案件の存続や、今後の自走化に対してどうしていくべきか検討が必要である。
- (3) 企業版ふるさと納税の効果検証について
 - ・市街地活性化事業は、ゼロカーボンシティを宣言している中、断熱や脱炭素化を推進するためのプロジェクトチームが誕生したところに、一定の評価ができる。
 - ・中小企業振興事業は、労働力確保が難しい中、事業の性格として素晴らしい事業である。
 - ・中小企業振興事業は、企業版ふるさと納税の寄附が充てられていると実感しにくい。
 - ・総合相談センター事業は、コミュニティが生まれ、子育てをしている方からも意見が出され評価できる。
- (4) 事業総点検について
 - ・市民の本音を把握することのできる素晴らしい取組だと思う。
 - ・市民参加の事業総点検の取組は、市民の地方自治への参加意識を高めるために有益と感じた。市民アンケートなどとともに継続的に行うことが重要だと思う。
 - ・７０８事業７，０００ページにもわたる事業を総点検されたこと、素晴らしい取組だと思う。点検方法も大変工夫され、市民が意見し、評価しやすい方法をとられたことも素晴らしいと思う。

９ 審議の概要

詳細な会議録は、市役所情報コーナーで公開する。（概要版）